

Ⅱ 学類等への移行

総合教育部の学生は総合教育部で1年間学んだ後、2年次に各学類（保健学類は専攻）へ移行します。文系は融合学域又は人間社会学域、理系は融合学域、理工学域又は医薬保健学域（医薬科学類及び保健学類の理学療法専攻・作業療法専攻を除く。）の各学類へ移行します。

移行先の学類は本人の希望と移行点対象科目の成績（移行点）によって決定します。

移行先の受入人数は、1年次の6月頃通知します。入学者選抜要項に記載した移行人員をp.17に掲載していますので、確認してください。

なお、文系から理工学域及び医薬保健学域への移行、理系から人間社会学域への移行はできません。

1 学類選択の準備

総合教育部の学生はアカデミック・アドバイザーとの面談・履修計画を行いながら、学類教員や学類の学生との懇談等を通して、学類選択への準備をします。総合教育部学生対象の行事や様々な学類の研究室訪問に参加したり、学類教員等の面談等を通してどのようなことを学ぶのか自分の興味に合わせて調べ、自分に合った学類選択を行えるようアカデミック・アドバイザーがサポートします。

2 志望調査

6月初旬及び9月初旬に、Web上で予備志望調査を行います。予備志望調査では、それぞれの時点での学類・専攻ごとの志望者数を調査し、その結果もWebにより発表します。その後、必要に応じアカデミック・アドバイザーと面談を行います。

1年次の成績が確定した後、3月初旬に志望調査を実施します。志望調査では、志望学類ごとに順位を付けて各人にお知らせします。

3 進路登録

志望調査の結果を参考にしながら第1次進路登録を行います。

第1次進路登録に基づき、本人の希望と移行点により移行学類が決定します。第1次進路登録で移行する学類・専攻が決定しなかった場合は、同様の方法で第2次進路登録を行い、決定しなかった場合は担任教員やアカデミック・アドバイザーと面談を行いながら第3次進路登録では最大第3志望まで提出して移行先を決定します。3月中旬には、すべての学生の移行学類が決定します。

学類等移行スケジュールは、p.18に掲載していますので、確認してください。

4月及び9月開催のオリエンテーション時、また2月開催の移行ガイダンス時に「予備志望調査・志望調査・進路登録のための学類移行システム利用方法」をお知らせします。

また、2年次4月にプログラム又はコース選択のある学類（人文学類、国際学類、数物科学類、電子情報通信学類）では、移行学類の決定後すぐに選択プログラム又はコースを決定する必要があります。

6 令和7年度 学類等移行スケジュール（予定）

日 程(予定)		行 事	備 考	
4月		面談(アカデミック・アドバイザー)	面談必須	
5月		個人面談(担任教員)、履修相談	面談必須	
6月	6月頃	移行定員決定		
	9(月)～13(金)	第1次予備志望調査	第1志望必須、第3志望まで	
	16(月)	第1次予備志望調査結果発表	志望人数のみの発表	
8月	29(金)～9/2(火)	第2次予備志望調査	文系第4志望、理系第5志望まで	
9月	8(月)予定	第2次予備志望調査結果発表	前期の移行点平均値によるボーダーの公表	
	中旬～下旬	面談(アカデミック・アドバイザー)、履修相談	面談必須	
	30(火)	後期オリエンテーション	出席必須	
11月		個人面談(担任教員)、履修相談	面談必須	
2月	～3月	個人面談(担任教員)	必要な場合のみ	
	12(木)、13(金)	移行ガイダンス	TOEIC-IP終了後に開催、出席必須	
	19(木)	成績開示①	Practical English IVを除く全科目	
	19(木)、20(金)	疑義申立て①		
3月	4(水)	成績開示②	Practical English IV	
	4(水)、5(木)	疑義申立て②		
	4(水)、5(木)	志望調査・移行点开示	文系第4志望、理系第5志望まで	
	9(月)		成績確定・移行点確定	
			志望調査結果発表	
	9(月)～11(水)	第1次進路登録	移行志望先を1つ選択	
	12(木)	第1次進路登録結果発表		
	12(木)～13(金)	第2次進路登録、面談	移行志望先を1つ選択	
	15(日)	第2次進路登録結果発表		
	15(日)～16(月)	第3次進路登録、面談	第3志望まで	
17(火)	第3次進路登録結果発表			

※上表に関わらず、希望者は、1年を通してアカデミック・アドバイザーや担任教員との面談が随時可能です。